

平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ニチリョク
 コード番号 7578 URL <http://www.nichiryoku.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺村 久義

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営統括本部長 (氏名) 矢田 欣也

TEL 03-3396-3052

四半期報告書提出予定日 平成27年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	1,704	14.4	55	—	7	—	△7	—
27年3月期第2四半期	1,490	△18.3	△34	—	△97	—	△73	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	△0.60	—
27年3月期第2四半期	△5.90	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	11,692	3,627	31.0	290.30
27年3月期	11,704	3,738	31.9	299.17

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 3,627百万円 27年3月期 3,738百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	7.50	7.50
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,750	10.1	240	9.5	110	16.8	55	62.5	4.40

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	13,741,014 株	27年3月期	13,741,014 株
28年3月期2Q	1,243,834 株	27年3月期	1,243,834 株
28年3月期2Q	12,497,180 株	27年3月期2Q	12,498,430 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、前半堅調であった金融経済が後半に入り新興国の成長鈍化が鮮明になったことや、米国の利上げ観測等による世界同時株安に連動し、弱めに推移する形で終わりました。

一方の実体経済は、物価上昇率低下に伴う実質所得の下げ止まりはあるものの、名目賃金の伸び悩み等から足踏み状態となりました。

当社が属する供養産業は、死亡者が増加傾向にあるにもかかわらず、霊園事業においては、埋葬の選択肢の多様化に伴い、比較的高価格となる墓地墓石の購入者は年々減少傾向にあります。この流れに対応すべく当社は、様々なお墓の形態を兼ね備えた霊園を開発すると共に、供養の全てを網羅し価格においてもご満足いただける堂内陵墓事業への拡充を図っております。

葬祭事業においては、葬儀の小規模・地味化傾向が顕著となる中、インターネット媒体を中心に業者間の価格競争は激化し、顧客単価が一層下落するという厳しい環境下にあるものの、生花祭壇葬「愛彩花(あいさいか)」と共に、家族葬を中心としたラステル葬が消費者から支持を受け、売上は堅調に推移しました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高17億4百万円(前年同四半期比14.4%増)、営業利益5千5百万円(前年同四半期営業損失3千4百万円)、経常利益7百万円(前年同四半期経常損失9千7百万円)、四半期純損失7百万円(前年同四半期純損失7千3百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 霊園事業

屋外墓地につきましては、埋葬の選択肢の多様化に伴い比較的高価格となる墓地墓石の買い控え並びに小規模区画傾向が続く消費動向に対応すべく、広告及び販売戦略の見直しを適宜行うと共に、本年8月「横浜三保浄苑(横浜市緑区)」が開園、募集販売を開始したことから、売上高は6億4千8百万円(前年同四半期比25.8%増)となりました。

② 堂内陵墓事業

第五号「両国陵苑(東京都墨田区)」は、消費者の価値観を超える重厚な施設と立地が反響を呼んでおり、計画を上回る販売実績をあげております。売上高は3億3千2百万円(前年同四半期比9.7%増)となりました。

③ 葬祭事業

死亡者数が年々増加傾向にある中、当社は終活セミナー等を開催し、潜在顧客を施行に繋げる取り組みを積極的に行っております。会員制の生花祭壇葬「愛彩花」並びに、家族葬・直葬施設を併設した独自のブランド「ラステル(ラストホテル)」は、「小規模でありながらも心のこもった葬儀」を望む現代の消費者から好評を得ており、施行件数は双方共堅調に推移しました。売上高は7億2千2百万円(前年同四半期比7.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における資産合計は、116億9千2百万円となり、前事業年度末に比べ1千2百万円減少しました。

流動資産は、前事業年度末に比べ、1億3百万円減少し、36億6百万円となりました。その主な要因は、売掛金5千9百万円及び原材料及び貯蔵品3千4百万円の減少によるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べ、9千1百万円増加し、80億8千6百万円となりました。その主な要因は、差入保証金8億9千8百万円の増加、霊園開発協力金8億3千3百万円の減少によるものです。

流動負債は、前事業年度末に比べ、9千万円増加し、34億1千6百万円となりました。その主な要因は、短期借入金2億1千7百万円の増加、1年内返済予定の長期借入金4千8百万円及び1年内償還予定の社債5千4百万円の減少によるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べ、8百万円増加し、46億4千8百万円となりました。その主な要因は、長期借入金7千2百万円の増加、社債7千6百万円の減少によるものです。

純資産は、前事業年度末に比べ、1億1千万円減少し、36億2千7百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金1億1百万円の減少によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、主に霊園開発協力金の純増による支出及び差入保証金の純減による収入があり、前事業年度末に比べ6百万円増加し、18億7千9百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、4千5百万円(前年同四半期は1億4千4百万円の使用)となりました。これは主に、営業収支による獲得9千3百万円、利息の支払6千6百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、5千万円(前年同四半期は4億5千3百万円の使用)となりました。これは主に、霊園開発協力金の純増による支出2億2千万円、差入保証金の純減による収入2億3千8百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、1千2百万円(前年同四半期は5億1千万円の獲得)となりました。これは主に、短期借入金の純増による収入2億1千7百万円、社債の純減による支出1億3千2百万円及び配当金の支払9千1百万円によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成27年5月8日の「平成27年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,599,320	2,605,095
完成工事未収入金	39,625	63,744
売掛金	218,612	158,815
永代使用権	311,423	279,537
未成工事支出金	288,235	293,584
原材料及び貯蔵品	132,486	98,042
その他	120,495	107,663
貸倒引当金	△41	△9
流動資産合計	3,710,157	3,606,475
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,025,100	989,637
土地	1,535,523	1,535,523
その他(純額)	20,786	19,174
有形固定資産合計	2,581,410	2,544,335
無形固定資産	196,635	237,831
投資その他の資産		
長期貸付金	140,234	137,657
差入保証金	1,383,044	2,281,599
霊園開発協力金	2,183,269	1,349,949
その他	1,547,504	1,570,886
貸倒引当金	△37,299	△36,058
投資その他の資産合計	5,216,754	5,304,034
固定資産合計	7,994,799	8,086,201
資産合計	11,704,957	11,692,677
負債の部		
流動負債		
買掛金	76,497	84,202
短期借入金	326,622	544,026
1年内返済予定の長期借入金	1,709,110	1,660,953
1年内償還予定の社債	613,800	559,800
未払法人税等	4,489	26,541
賞与引当金	31,900	29,500
その他	563,322	511,100
流動負債合計	3,325,741	3,416,123
固定負債		
社債	1,055,800	979,400
長期借入金	3,101,003	3,173,834
退職給付引当金	285,701	290,431
役員退職慰労引当金	174,109	180,550
その他	23,832	24,457
固定負債合計	4,640,446	4,648,673
負債合計	7,966,188	8,064,797

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,306,842	1,306,842
資本剰余金	958,082	958,082
利益剰余金	1,683,650	1,582,408
自己株式	△227,809	△227,809
株主資本合計	3,720,766	3,619,524
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	42,382	37,532
繰延ヘッジ損益	△24,379	△29,177
評価・換算差額等合計	18,002	8,355
純資産合計	3,738,769	3,627,879
負債純資産合計	11,704,957	11,692,677

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	1,490,172	1,704,417
売上原価	508,702	581,575
売上総利益	981,469	1,122,841
販売費及び一般管理費	1,015,471	1,067,743
営業利益又は営業損失(△)	△34,001	55,097
営業外収益		
受取利息	2,177	1,652
受取配当金	7,444	5,644
その他	13,629	15,354
営業外収益合計	23,251	22,651
営業外費用		
支払利息	61,631	66,054
その他	25,497	4,606
営業外費用合計	87,128	70,661
経常利益又は経常損失(△)	△97,879	7,087
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除却損	84	0
特別損失合計	84	0
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△97,964	7,088
法人税、住民税及び事業税	4,391	20,024
法人税等調整額	△28,663	△5,422
法人税等合計	△24,271	14,601
四半期純損失(△)	△73,692	△7,513

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
営業収入	1,565,717	1,719,346
原材料又は商品の仕入れによる支出	△505,380	△510,968
人件費の支出	△548,050	△552,490
その他の営業支出	△531,338	△562,100
小計	△19,052	93,786
利息及び配当金の受取額	7,682	8,236
利息の支払額	△64,108	△66,741
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△69,006	10,002
営業活動によるキャッシュ・フロー	△144,485	45,284
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△23,130	△21,133
定期預金の払戻による収入	22,000	22,000
有形固定資産の取得による支出	△5,323	△5,663
無形固定資産の取得による支出	△52,742	△45,900
貸付金の回収による収入	3,343	2,577
霊園開発協力金の支出	△526,084	△478,833
霊園開発協力金の回収	—	258,257
差入保証金の差入による支出	△176	△991
差入保証金の回収による収入	124,679	239,206
その他	4,220	△20,477
投資活動によるキャッシュ・フロー	△453,214	△50,957
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	700,016	660,024
短期借入金の返済による支出	△496,080	△442,620
長期借入れによる収入	1,332,463	997,999
長期借入金の返済による支出	△974,046	△975,325
社債の発行による収入	293,834	197,631
社債の償還による支出	△248,000	△330,400
配当金の支払額	△93,838	△91,381
その他	△3,737	△3,611
財務活動によるキャッシュ・フロー	510,611	12,315
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△87,088	6,642
現金及び現金同等物の期首残高	2,449,319	1,872,411
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,362,230	1,879,054

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。